

平成31年度 AO1期入学試験

基礎学力試験問題 (小論文)

1. 試験時間は、60分間です。
2. 問題は、この冊子の1～5ページにあります。問題用紙が解答用紙を兼ねています。
3. 問題や解答を、声に出して読むはいけません。
4. 印刷の不鮮明、用紙の過不足については、申し出てください。
5. 問題や解答についての質問は、原則として受け付けません。
6. 終了の合図があったら、すぐ筆記具を置いて、解答用紙を机の上に伏せてください。
7. この問題用紙は、持ち帰らないでください。
8. 不正な行為があった場合は、解答をすべて無効とします。
9. 答案の文字は、ていねいに、かつ明瞭正確に書いてください。
10. その他、試験の進行については、監督者の指示に従ってください。

植草学園大学 保健医療学部

受験番号		氏名	
------	--	----	--

「献血」とは、病気やけがで輸血や血漿分画製剤を必要とする患者のために、自分の血液を自発的かつ無償で提供することである。輸血とは、病気やけがで血液が必要な患者に健康な人の血液を補給する治療のことである。また、血漿分画製剤とは、やけどや感染症、血友病の治療などに使われる医薬品であり、血液からつくられる。献血を行うには年齢や体重などの基準を満たす必要があるが、200 mL献血は男女とも16歳から行うことができる。

今後、少子高齢社会が進展し若い世代の人口が減る一方で、輸血を必要とする高齢者はますます増える。そのため血液の安定供給を行える体制を確保すべく、厚生労働省は献血推進の様々な取り組みを行っている。重点的に取り組んでいることは、①献血の意義を理解して献血をしてもらうための普及啓発活動、②若年層への特別な啓発活動、③安心・安全な献血の環境整備、である。

献血についての厚生労働省の調査結果を図1、図2に示す。図1は「年代別献血者数と献血量の推移」であり、図2は「初めての献血のきっかけ」である。

問題 次の問いに答えなさい。

問1 図1「年代別献血者数と献血量の推移」をみて、以下に答えなさい。

- 1) 平成21年度に比べて、平成28年度の献血量はどれくらい減少したか。減少した量を単位を付けて答えなさい。

(_____)

- 2) 平成19年度と比較して、平成28年度における献血者数が減っている年代をすべて答えなさい。

(_____)

- 3) 10代から30代までの献血者数の合計は、平成19年度から平成28年度までの10年間で何%減少したか、減少率を答えなさい。小数第2位を四捨五入して小数第1位まで求めなさい。

(_____) %

4) 平成28年度における10代の献血者数は、平成28年度における総献血者数の何%にあたるか答えなさい。小数第2位を四捨五入して小数第1位まで求めなさい。

(_____) %

問2 図2「初めての献血のきっかけ」をみて、献血の意義を理解した上での、最も多い献血のきっかけと2番目に多い献血のきっかけを答えなさい。

最も多い献血のきっかけ

(_____)

2番目に多い献血のきっかけ

(_____)

問3 若年層の献血者数を増やすためには、どのような具体的な取り組みが必要だと思いますか。理由とともにあなたの考えを述べなさい。なお、解答は400字以内にまとめなさい。

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

100

200

300

400

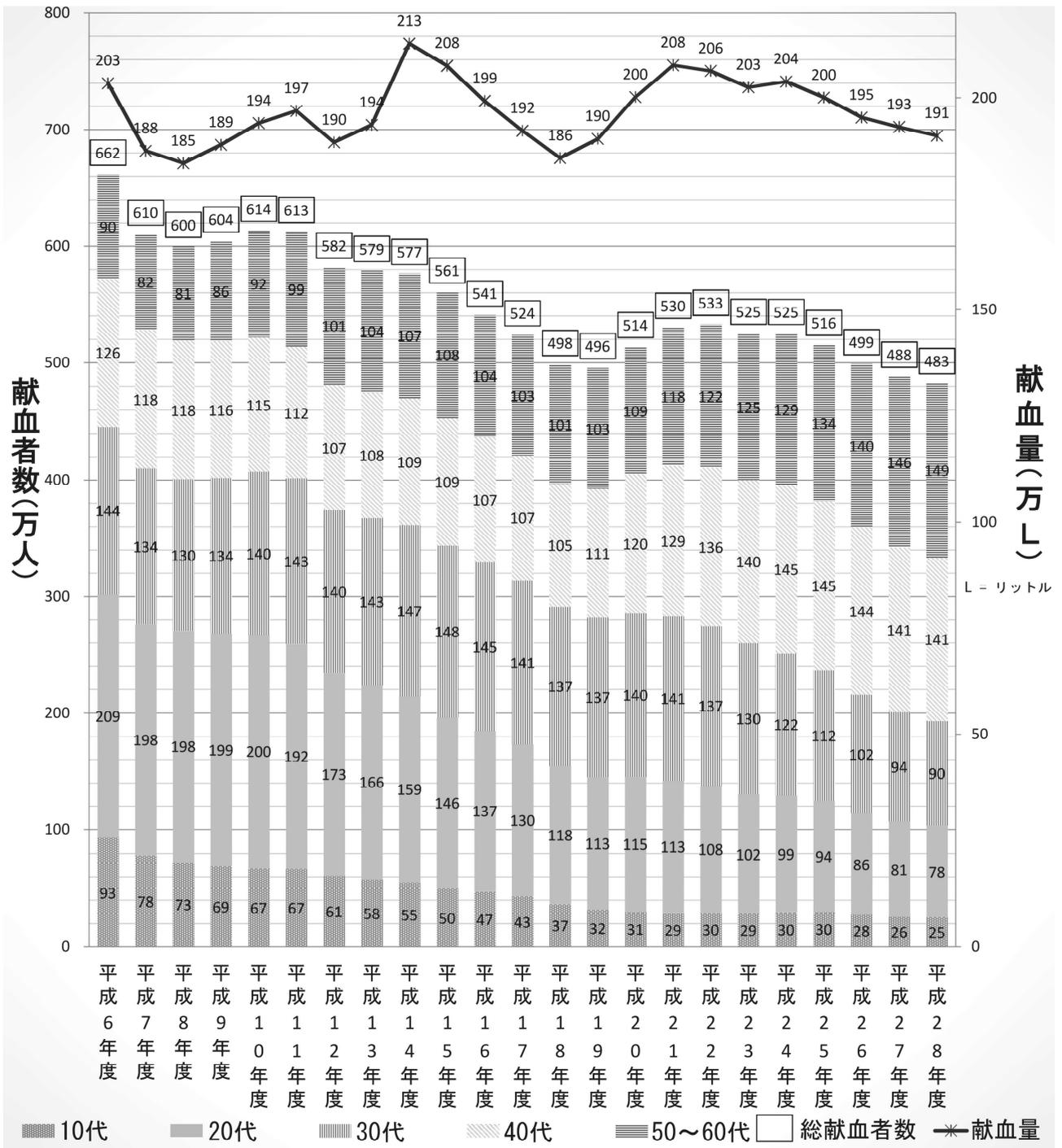


図1 年代別献血者数と献血量の推移

出典：血液事業の現状（厚生労働省 医薬・生活衛生局）

* 出題の都合上、部分的に改変してある。

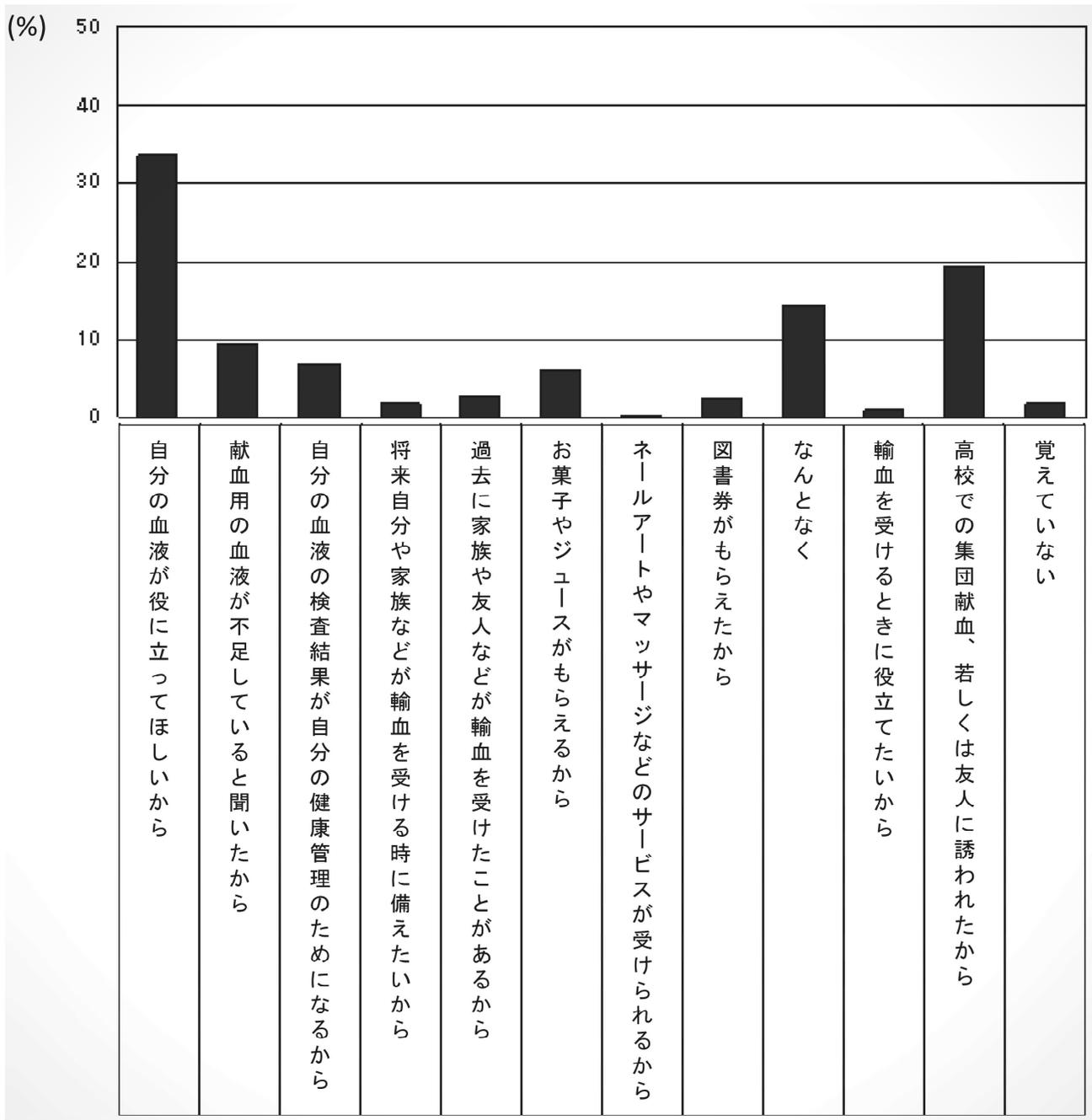


図2 初めての献血のきっかけ

(きっかけの大きい順に3つまで複数回答)

出典：若年層献血意識に関する調査結果報告書（厚生労働省 医薬食品局血液対策課）

* 出題の都合上、部分的に省略・改変してある。